

### 世代を超えて支えあい、学びあい、地域をつなぐ。



臼杵市内小学校農泊体験学習の受入家庭と関係者の皆さん

大分県の東海岸に位置する臼杵市。豊かな自然と温暖な気候のもと農業や漁業が盛んで、江戸時代から続く醤油・味噌・酒の醸造業、造船業でも栄えています。また、国宝 臼杵石仏をはじめとする文化遺産でも知られています。平成17年に臼杵市と野津町(のつまち)が合併。以来「日本の心が育つまち」を目指して、市民と行政が力を合わせて多様な活動を展開しています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
市内の小学生が、地元の農村家庭に滞在し、昔ながらの家族団らんや、体験農場での種まきや収穫体験から食育を学ぶ農泊体験学習を行っています。

### 飯能市をあなたの「ふるさと」にしませんか。



入間川上流で見ることができる、蛍が舞いぶ様子

飯能市は、都心から電車で一時間ほどで辿り着く都会に最も近い里地里山の地方都市です。昔から林業が盛んで、森林と共に暮らす生活が残っています。人口約8万人、面積にして193.05km<sup>2</sup>と人口に対して広い面積の市です。76%が森林です。おのずと空気、水、日差しが違います。飯能市では、森林や森林の恵みを享受する生活を守っています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
入間川が流れる吾妻峡(あづまきょう)の河原を歩く散歩みちの整備や、河川の清掃などを行っています。

※埼玉県 飯能市からの投稿記事です。

### 皆さまからのご支援を、さまざまな町づくりに活かしていきます



津南町の春夏秋冬

津南町は、新潟県南部に位置し、日本一雄大な河岸段丘(かがんだんきゅう)上に田畑や森林が大きく広がり、信濃川が運ぶ心地よい風を浴びながらゆったりと流れる景色が、いつの時代も私たちの心を和ませてくれます。ときには厳しい豪雪の中で闘うこともありますが、わが町の先人たちは数千年の歴史のなかで文化を築き、農を営み続けてきました。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
この大地や自然とどのように付き合い接していくべきか、それを体感しながら学ぶ場「苗場山麓ジオパーク」の環境保全を行っています。

※新潟県 津南町からの投稿記事です。

### 水・緑・文化が織りなす 笑顔と共生のまち かめおか



2013年2月、セーフコミュニティの再認証を取得

古来、京の都に隣接する要衝の地として、歴史的にも文化的にも大きな役割を果たしてきた亀岡市は、豊かな自然環境と都市的な利便性が調和する住みよいまちです。2008年3月には日本で初めてWHOセーフコミュニティ協働センターが推奨する「セーフコミュニティ」の認証を取得するなど、「安全・安心こそ最大の福祉」を理念に、「日本一しあわせを実感できるまち」を目指しています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
安全への意識を高め、自らが危険を回避できる力を育めるよう、交通安全子ども自転車大会やいじめ防止フォーラムを開催しています。

※京都府 亀岡市からの投稿記事です。

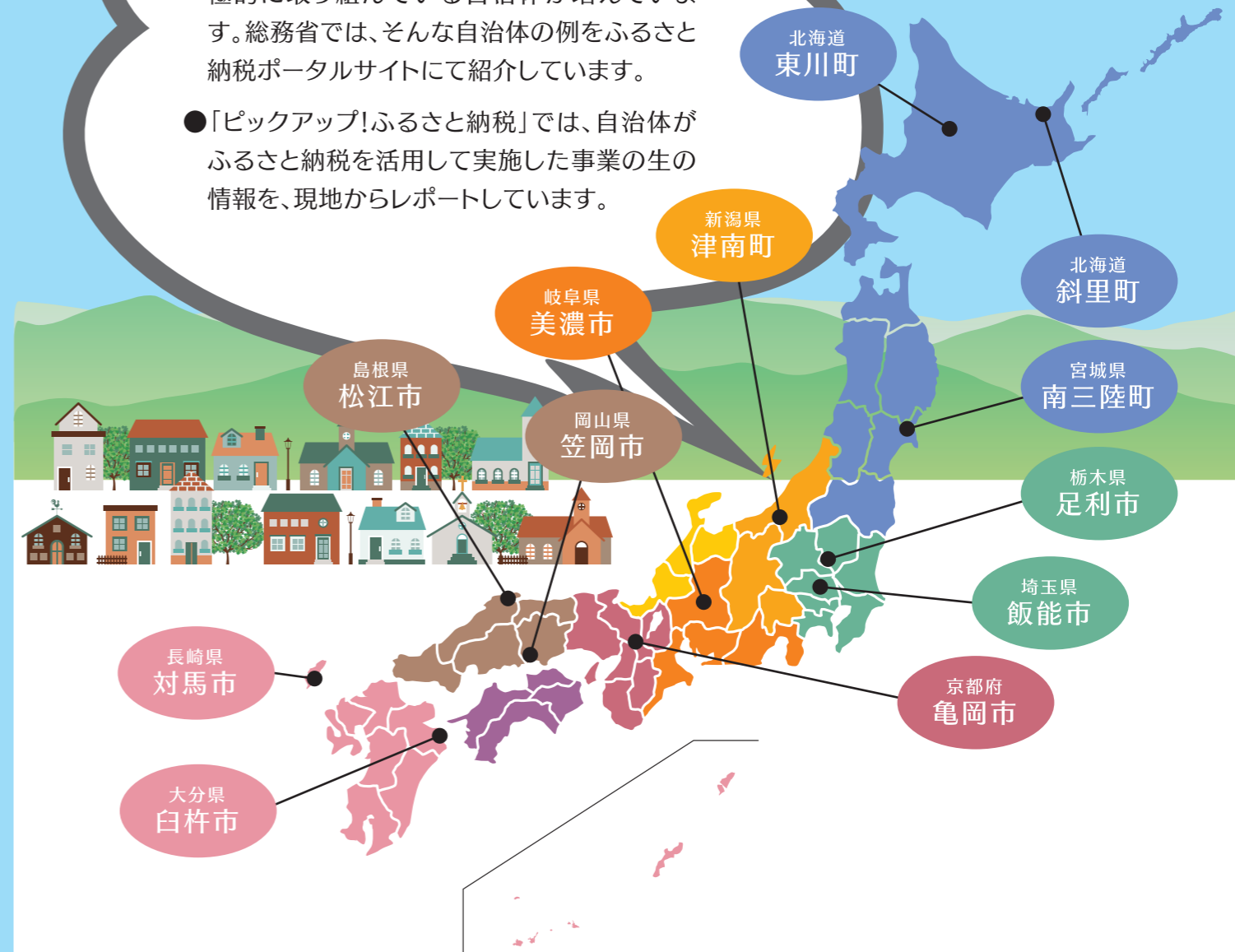
本リーフレットは「ピックアップ!ふるさと納税」の概要を紹介するものです。「ピックアップ!ふるさと納税」の各記事の全文は、総務省ふるさと納税ポータルサイトをご覧ください。  
[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_zeisei/czaisei/czaisei\\_seido/furusato/report/](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/furusato/report/)



# ピックアップ! ふるさと納税

## 概要版

- ふるさと納税は、具体的には、どんな事業に活用されているのでしょうか?  
ふるさと納税の使途をPRしながら、ふるさと納税を活用して地域の実情に応じた事業に積極的に取り組んでいる自治体が増えています。総務省では、そんな自治体の例をふるさと納税ポータルサイトにて紹介しています。
- 「ピックアップ!ふるさと納税」では、自治体がふるさと納税を活用して実施した事業の生の情報を、現地からレポートしています。



## ふるさと納税を活用した事業について、 生の情報を現地からレポートしています。

北海道 ひがしかわちょう  
東川町

### 大雪山の恵みの水を、未来の子供たちにも。



大雪山旭岳から湧き出る湧水

北海道のほぼ中央、旭川の中心部から13kmの場所にある東川町は、大雪山(だいせつざん)国立公園のふもとに広がるまちです。大雪山連峰の最高峰・旭岳(あさひだけ)に降った雪や雨が長い年月をかけ大地にしみこんだ地下水を全戸で使用しており、道内で唯一、上水道のないまちとして知られています。恵まれた自然環境と旭川空港に近い利便性の高さ、そして「写真の町」を掲げての写真にまつわるイベントの開催で観光客を集めています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
東川町では、ふるさと納税をした方々を株主とする「ひがしかわ株主制度」を導入し、株主の方々を招いての植樹体験の開催や、国際写真フェスティバルなどのイベントを行っています。

北海道 しゃりちょう  
斜里町

### 原生の森の復元に、100年の計で挑む。



ふるさと納税を活用して森づくり作業が進む知床国立公園内の100平方メートル運動地

北海道の東部、オホーツク海に面した斜里町は、100kmを超える海岸線と雄大な知床連山を擁するまちです。ユネスコの世界自然遺産に登録されている知床半島でもよく知られています。知床半島の周辺海域は、北半球において流水が接岸する最南端。流水がもたらす生態系、そして海域と陸域が一体となった独特の環境のもと、多様な動植物が息えています。斜里町ではこの貴重な自然を守るために、長年にわたり地道な活動を続けています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
森林の再生、生物相の復元や散策路「森づくりの道」の整備など、「100平方メートル運動の森・トラスト」の様々な活動に活かされています。

宮城県 みなみさんりくちょう  
南三陸町

### おらほの町のために、つながる力を、みんなの力へ。



海の運動会など、おらほのまちづくり補助金を活用した取組

志津川町(しづがわちょう)と歌津町(うたつちょう)が合併して10年一宮城県の北東部に位置し、リアス式海岸の豊かな景色に恵まれた、南三陸町。平成23年3月11日、東日本大震災により甚大な被害を受けた町は、今も全力で復興に取り組んでいます。古より海や山とともに生き、人と人とのつながりの大切さを熟知した先人たちが、協働し継承してきたまちづくりの想いは、様々な事業の中に息づいています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
「おらほのまちづくり支援事業補助金」を交付し、住民が組織する団体やボランティア団体などが主体的に行う事業や活動を応援しています。

栃木県 あしかがし  
足利市

### まちづくりは、人づくりから。学びと育みが未来をつくる。



日本遺産である足利学校

東京から北へ約80kmにある栃木県足利市。古くから織物業で栄え、現在は総合的な商工業都市として発展しています。また、日本遺産の足利学校や、鏝阿寺(ばんなじ)をはじめとする足利氏ゆかりの社寺が点在し、豊かな歴史と文化が息づくまちでもあります。これら観光資源を活用して映画やドラマのロケ地誘致を行うなど、新たな魅力づくりにも力を注いでいます。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
日本遺産である足利学校の茅葺き屋根の維持・管理や、全面的な葺き替えなど、足利学校の改修を行っています。

岐阜県 みのし  
美濃市

### 町並みや伝統文化を、次世代へ伝えたい。



1300年続く伝統技術から生まれてくる手すずきの本美濃紙

岐阜県のほぼ中央に位置する美濃市は、長良川(ながらがわ)をはじめとした美しい自然に恵まれたまちです。江戸時代からの建造物が軒を連ねる「うだつの上がる町並み」や重要無形文化財の本美濃紙(ほんみのし)でも知られています。平成26年に本美濃紙の手漉和紙技術がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、平成27年度から新たに「本美濃紙後継者育成のための事業」に取り組むこととしています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
本美濃紙の手漉和紙技術を将来にも伝えるため、本美濃紙後継者育成や次の世代の担い手たちが一本立ちするための支援を行っています。

島根県 まつし  
松江城

### 城下町の歴史・景観を市民と共に守る。



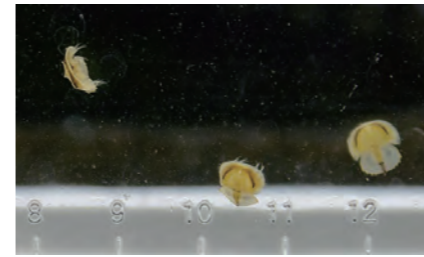
城下町・松江のシンボル松江城

島根県の東部に位置する松江市は、東に中海(なかうみ)、西には宍道湖(しんじこ)と2つの湖を擁する国際文化観光都市です。豊かな自然を背景に古代出雲の中心地として早くから開け、江戸時代には城下町としても栄えました。これら貴重な歴史を守ると同時に、観光資源を活かした新たな魅力づくりにも力を注いでいます。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
まち歩きを楽しんでもらうための松江城周辺への観光案内板の設置や、歴史的景観を守り後世に伝えるための興雲閣(こううんかく)の保存などを行っています。

岡山県 かさおかし  
笠岡市

### 瀬戸内の海の宝を守り、育てる。



カプトガニ博物館で人工飼育されているカプトガニの幼生 (目盛りの単位:cm)

岡山県の西南部、瀬戸内海に面した港町、笠岡市。沖合には大小31の島からなる笠岡諸島があり、そのうち有人の7つの島では、各々が独自の文化や伝統を持っています。カプトガニの繁殖地としても知られ、カプトガニの保護や人工飼育に取り組むなど、瀬戸内の海の宝を大切に守り続けているまちです。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
国の天然記念物に指定されているカプトガニの繁殖地の環境保全や、環境教育、古代生物についての展示などを行っています。

長崎県 つしまし  
対馬市

### 野生生物と生きる国境の島、対馬。



展望台から望む雄大な風景

日本海の西に浮かぶ南北82km・東西18kmの細長い島であり、山林がその面積の89%を占める対馬市。島の地形は標高200m~300mの山々が海岸まで続き、原始林を抱く、勇壮な自然を目にすることができます。国の天然記念物のツシマヤマネコをはじめ、ここでしか見ることのできない動植物が多く生息しています。

- ふるさと納税を活用して取り組んでいる主な事業  
絶滅の危機にあるツシマヤマネコを保護するために、対馬本来の生態系を取り戻す取組を行う保護区の設定を行っています。